

第 38.回 日本鼻科学会 (平成 11 年 9 月 30 日・10 月 1 日・2 日)				
会長 今野 昭義 (千葉大)				
特別講演およびそれに準ずる講演	シンポジウム	パネル	テーマ指定演題	一般演題数 (テーマ指定演題を含む)
International Session (会長推薦講演) 司会 大山 勝 (大島郡医師会病院) ランチョンセミナー I 「花粉症-他科との接点」 司会 奥田 稔 (日本臨床アレルギー研究所) 「スギ花粉症と結膜炎」 大野 重昭 (横浜市大眼科) 「スギ花粉による皮膚炎」 西岡 清 (東京医科歯科大皮膚科) 第 6 回日本鼻科学会学会賞受賞記念講演 司会 石川 哮 (九州免疫・アレルギーセンター) 「鼻粘膜局所における IgE クラススイッチングの誘導」 藤枝 重治 (福井医大) 招待講演 司会 今野 昭義 (千葉大) 「Allergic rhinitis in Korea」 Prof. Joong Saeng Cho (Kyung Hee University, Korea) ランチョンセミナー II 司会 茂木 五郎 (大分医大) 「解説講座 サイトカイン、接着分子と下気道粘膜病態」 福田 健 (獨協医大アレルギー-内科)	サテライトシンポジウム 「アレルギー性鼻炎における鼻粘膜炎症の成立機序とその臨床的意義」 司会 岡本 美孝 (山梨医大) 1. 好酸球からみて 寺田 修久 (千葉大) 2. マスト細胞からみて 川堀 眞一 (札幌病院) 3. Local IgE synthesis in allergic rhinitis: its functional significance in the allergic inflammation. Ruby Pawankar (日医大) 4. T 細胞からみて 松崎 全成 (山梨医大) 5. アレルギー反応における鼻粘膜神経原性炎症の成立機序 大久保 公裕 (日医大) シンポジウム I 「鼻疾患における遺伝的素因の解析とその意義 -HLA と分子生物学的アプローチによる最近の知見-」 司会 坂倉 康夫 (三重大) 1. 疾患遺伝子同定のための分子生物学的手法 福島 邦博 (岡山大) 2. 慢性副鼻腔炎における HLA および TNF 遺伝子多型の解析とその意義 竹内 万彦 (三重大) 3. アレルギー性鼻炎における候補遺伝子の遺伝子多型の解析とその意義 永田 博史 (千葉大) 4. アレルギー性鼻炎における HLA の意義と臨床応用の可能性 五十川修司 (西日本病院)			188 題

	<p>シンポジウムⅡ</p> <p>「鼻茸の病態とその発症メカニズム」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケカインの産生・誘導の点から-RANTES を中心に 山田武千代（福井医大） 2. 細胞浸潤の点から -Eotaxin を中心に 浜野ナナ子（千葉大） 3. Eosinophil Cationic Protein の点から 春名 眞一（慈恵医大） 4. 鼻ポリープの発症と水チャネル遺伝子 土井 勝美（大阪大） <p>発言：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. アレルギー性鼻茸における好酸球のアポトーシス制御 伊藤 尚（大阪医大） 2. クロライドチャネルの点から 大島 猛史（東北大） 3. 細胞外マトリックスの点から 原田 輝彦（三重大） 			
--	---	--	--	--